

理工学基礎A実験注意事項

1. 理工学基礎実験の構成

- 1) 当実験は、◎A実験（工学系－714室）
B実験（物理系－724室）
◎D実験（管理系－714・711室）に分かれている。
- 2) A・B・D実験 それぞれ4テーマずつ、合計12テーマ（12週）で構成されている。

2-1. 実験指導上の説明

- 1) 翌週の実験テーマがなんであるか、「班分け表」で確かめ、予習を必ずすること。
- 2) 説明前の実験装置には絶対に手を触れぬこと。
(注) 感電や、その他の事故の原因になる
- 3) レポート用紙・グラフ用紙はA4を使用すること。
- 4) グラフ用紙（両対数・片対数・方眼紙 mm/mm）・電卓などは、実験に必要なため必ず各自が持参すること。
- 5) 金属の切削加工実験は、サンダル・ハイヒールでの入室を禁止する。
作業服、保護メガネは、実験室で用意する。

2-2. レポート提出について

- 1) 提出日は、翌週の実験日とする。
- 2) 提出時間
午前グループは 午前9時まで
午後グループは 午後1時まで
- 3) レポートは、準備室カウンター下の各テーマボックスへ提出する。
提出後に受理されたレポートについては、受領証を渡す。学生は受領証を必ず受け取り、保管しておくこと。
- 4) 金属の切削加工は、当日、実験終了後担当者に提出する。
- 5) 遅れレポートは、減点の対象になる。指定された日までに提出するよう十分注意すること。
(注) 全レポートを提出しても評価が低く、さらに重なる遅延により減点され、総点が合格点に達しない場合がまれながらある。注意すること。
- 6) 再レポートは、減点の対象にならない。むしろ、より良いレポートになるように指導している。

2-3. 欠席・遅刻について

- 1) 病気通院・忌引きなどで「欠席」する場合は、A・D実験に電話連絡すること。
後日、欠席届に証明書を添付して、速やかに提出すること。欠席届は各実験室にある。
- 2) 補充実験を許可された学生は、原則として13回目に行います。但し、A・D実験では希望により12回までに、他の実験日で補充実験を受けることができる。
- 3) 病気入院等で長期欠席(2週以上)する場合は、必ず実験室に連絡すること。
(所属学科の学習指導の先生に並行し連絡することを薦める)

045-566-1048 A・D実験

- 4) 遅刻は減点の対象となる。30分以上の遅刻は欠席扱いとする。電遅等の場合は理由書を提出することで補充実験を受けることができる。

3. 「火災」・「地震」時の対応について

- 1) 実験日初日に必ず非常口・避難路を確認すること。
- 2) 避難する際は担当者の指示に従い、避難場所の「陸上競技場」に避難し、次の指示があるまで待機すること。

以上